

婦 人 と 子 と も



幼 兒 依 托 所

入學前の幼兒の教育を司る最も自然の教育者は、母親であつて、自然の教育所は家庭であることは、こゝに改めて言ふまでもない事である。故に幼兒の教育は、全く之を自然の教育者の手に委すべしといふことは尤もの事である。然しながら社會の事情は世間多くの母親をして此尊むべき自然の天職を十分盡す事は、さうしめる場合が多くなつて來る。此頃は下層の勞働者に極めて普通の状態となつて來る。即ち日々の生活の爲めに忙はしい所から、自分の子供の教育さへ十分に盡す事が出來ない様になつて來

る。自分の子供の世話をしようか、生活の資を十分に得ることか出来ない。生活の爲めに十分働かうか子供の世話をする人かない、而しなから、親子食はずに居て、餓死を待つよりは、仕方ないから、子供は全く放任して生活の爲めに働かねばならぬ。こうなつて來ると、子供の現在の不幸は、言ふまでもないが、其將來の運命はまたまことに憫むべきのみならず、實に國家社會に取りて一大不幸を見るに至るのである。

是に於て、之等の労働者の子供の現在の境遇を幸ならしめ、其將來沈淪すべき不幸の境界から助け更に國家社會の福祉を増進せんかために、晝間、父母か生活の爲めに働く間丈、其子供を收養し家庭に代はつて其世話をしようといふ施設か、外國などに甚だ多く出來て來た。即ち、幼兒依託所 Kinderhe-wahlanstaltung 幼稚學校 Kinder-||-Schule 或はクリッペン Crippen などいふものは、皆其目的の爲めに出來たもので、何れも、一年未滿から、入學するまでの間の間の幼兒を、朝から晩まで親切に世話をして與へるのである。父母は、毎朝働かきに出掛けて其子供を連れて此處に置き、毎夕、仕事の歸りに、此處から伴うて家庭に歸つて行く。

一方に於ては、子供の心配は費らぬから、思ひ切つて十分働く事が出來、一方に於ては、其子供は十分に保護養育を受け、現在の境遇將來の運命と共に幸福ならしめることが出来る。

翻つて我國現在の社會的狀態は、下層の労働者の生活漸く困難ならんとして、然も、此の如き施設

設は一も見る事が出来なかつた。然るに、客年日露戦争の事起るに當つて、國內に於て種々有益な後援的事業の起つた間に、更に注意すべきものは、出征軍人遺族の困窮者の幼兒を收養して、其母親の職業を十分ならしめる目的の幼兒依託なるものが、こゝ彼處に起るに至つた事である。現に神戸には既に三ヶ所か開設あり、東京に於ても、京橋の朝海小學校の施設したるもの外二三あるといふことである。吾人は、大に此舉を賛すると共に此の如き施設の尙益々増加して、單に、此の時機丈けでなく、之を機として一般労働者の幼兒依託所なるものが、起らんことを切望するものである。

(牧 羊)

